

第3回大宮区区民会議 会議録

- 1 日 時 平成29年7月19日(水) 14時00分～16時00分
- 2 会 場 大宮区役所1階多目的室
- 3 出席者 23名

(委員) 16名

花俣淳一会長、池上明彦副会長、横山千恵子副会長
井上恵美子委員、大野敏子委員、小倉京子委員、廣澤宣明委員、齋藤泰雄委員、
仙石玲委員、武田千春委員、田代秀一委員、登坂篤委員、藤田信一委員、
星野美子委員、松本よしの委員、村上隆子委員
(欠席委員) 2名
新井陽子委員、松岡忠男委員

(オブザーバー) 1名

大野(副区長)

(事務局) 4名

白石(コミュニティ課長)
池羽、佐伯、加藤(コミュニティ課)

(コンサルタント) 2名

植田、白木((株)社会構想研究所)

4 内 容

- (1) 開会
- (2) 協議事項
 - ①第8期区民会議の進め方について
- (3) 報告事項
 - ①区民会議だよりの発行について
 - ②区民ふれあいフェアへのブース出展について
- (4) 閉会

5 議事内容

・協議テーマの設定に向けての検討

第2回で出された、各委員の大宮区に対する思いや問題意識から、①「大宮区ブランド」再発見 ②うるおいのある生活基盤整備 ③大宮区「我が事丸ごと」地域づくり という3つのキーワードを設定し、このお題に沿って、第8期区民会議で何を話し合えばよいのかについて、班ごとに協議をおこなった。

【グループワークの内容】

A班

第8期区民会議で協議するテーマとして、①「大宮区ブランド再発見」では、大宮宿や氷川神社等の【大宮区の歴史】が、また、新しい【大宮区の食】のブランド化といったことが出された。②うるおいのある生活基盤整備では、大宮駅東口をはじめとする各種再開発について、これから大宮がどのようなまちになるのか【区民の視点から再開発を考える】ことが必要というテーマが出された。③大宮区「我が事丸ごと」地域づくりでは、【自転車（交通）マナー】と【高齢者の介護やパラリンピックに向けての介助講習会】がテーマとして出された。

B班

大宮区のブランドといった時、大宮区民の中でも意識に差がある。古墳や盆栽、氷川神社や鉄道等、大宮は色々なものがあり、古いものはあるが継承されていない部分もある。様々なものが混在しているのが大宮区であり、それをそのまま肯定して前向きに捉えるのが良いのではないか。ネガティブなものも、ポジティブなものへ変えていくような工夫をすればブランド化できるのではないか。

また、駅前の再開発など、今、まちが変わっていきこうとしている。大宮のまちについて考える時に、区民としてそういった動きについて知っておく必要がある。そういったことを勉強した上で、区民として何ができるのかという視点で考えると良い区民会議になるのではないか。

※ 各班の各委員による意見の詳細については、別紙参照

・区民会議だよりの発行について

10月に発行される区民会議だより（第29号）について、区民会議の紹介と会長挨拶、藤田委員と松岡委員による「氷川参道について」の記事を掲載することが報告された。

・区民ふれあいフェアへのブース出展について

10月28日に開催される、大宮区区民ふれあいフェアに「大宮二十景絵画コンクール作品展」と併せて、区民会議もPRブースを出展することが報告された。

次回第3期区民会議は、平成29年9月22日（金）午前10時から区役所1階多目的室で開催予定。

①「大宮区ブランド」再発見

A班

大宮のイメージ（他都市から見ると何も無い）
再開発!と言っているけど、保守的な人が多い

近い将来の大宮のイメージの確立
市街地、氷川神社、鉄博、アルディージャ、大宮公園
鉄道のまち

大宮区の歴史

大宮宿の表示

氷川神社の御利益をはっきりさせる

図書館跡地をおかげ横丁のように

氷川神社と大宮公園の再開発

大宮の食

大宮ナポリタン

気軽に立ったままでも食べられるもの
（ナポリタンは服にはねる）

口琴の和菓子などの新銘菓をつくる

大宮“食”のブランド募集「大宮二十食」

②うるおいのある生活基盤整備

区民の視点から再開発を考える

大きな開発の（非公開が多いけど）
案にのった提案（使うのは地元の人）

知らない間にまちがでちゃっただと困るので、
都市局の人に説明してもらう

市街地再開発に区民会議での意見を取り上げてもらうには？

しっかりした再開発をして欲しい
大宮ブランドに通じるような

大宮駅・駅前開発（開発というか、整備・耐震・防火）

大宮区役所跡地に大宮小学校を併設した公共施設
（学校の場所が変わると地域が変わる）

南銀の道路整備
道幅がない

公衆トイレの案内板を増やす（現在2か所あるが）

西口のようにしてほしい

NACK5 スタジアム・大宮球場を早急に拡大

氷川参道にトイレと土産物屋

③大宮区「我が事・丸ごと」地域づくり

自転車（交通）マナー

スクールゾーン（車進入禁止）
マナー見守り活動一斉実施

自転車のマナー

歩道は狭いし、車道は危ない。
自転車レーン・駐輪場が少ない。
結局はハード

高齢者の介護や パラリンピックに向けての介助講習会

車イス等介助講習会の実施

ひとり暮らし高齢者の見守り事業緊急対応の方法

救急電話の普及（安全センターと区役所）

区民総がかりクリーン活動

①「大宮区ブランド」再発見

B班

モノ・コト

- ・古墳 ・氷川参道（日本一の長い参道）
- ・盆栽 ・大宮公園の桜 ・中仙道の宿場町
- ・大宮アルディージャ ・大宮ナポリタン
- ・氷川神社（武蔵国一宮，官幣大社）
- ・スポーツ施設
- （大宮公園，サッカースタジアム，野球場）
- ・鉄道博物館 ・交通の要衝 ・まつり，新能
- ・首都圏の玄関口 ・漫画（北澤楽天）
- ・誇れるものは多々あるのに
どれもいまひとつアピール不足なのは？

活用の仕方

- ・あまりにも多種多様な人々の
集まりでまとめきれない
- ・「何でもあるけど何も無い」
イメージを逆手に取ったアピール
- ・古くからの神社の儀式が地元知られていない
- ・江原啓之が神様がいるとっていた
- ・氷川神社の活用（参道，観光，物産）
- ・リゾートだった？ ・文豪が来ていた
- ・ブラタモリの切り口 ・東北からの玄関口

アピール手法・手段

- ・大宮の歴史，文化を知ってもらう
（住んでいる人達を知ることが大切）
- ・大宮アルディージャを通して
起爆剤として盛り上げる ・住民参加
- ・観光資源としてのアピール情報発信力
- ・イメージを塗り替える ・文化的でない！
- ・アメリカで言ったら
田舎者の集まり第二のNewYork？
- ・有名人がいらないと思われている

②うるおいのある生活基盤整備

- ・大宮公園再開発
（ランニングコース→都内まで走りに行く人がたくさんいる）
- ・ホテル建設（旅行者を受け入れるキャバがない）
- ・駅前が一般車とバスがぐちゃぐちゃ
- ・西口駅前がダメ設計
- ・西口駅前がバリアフリーじゃない
- ・西口駐車場は今の状態のままなのか？
今後の計画はどうなっているのか
- ・駅前道路の拡張整備
- ・大宮駅のリニューアルの内容について知りたい

③大宮区「我が事・丸ごと」地域づくり

- ・高齢者，子ども，子育て世帯が孤立しない
- ・郷土史を学ぶネットワーク
子どもへの教育
- ・レンタル自転車の活用度？
- ・民話の掘り起こし
- ・ダサくても暮らしやすいまち（そのアピールの仕方に工夫がいる）
- ・まちのジオラマを公共の場に設置
- ・住民，地域によって都市イメージが異なる「中心」と「在」